

自民・武藤発言に批判広がる

自民党の武藤貴也衆院議員(36)＝滋賀4区＝がインターネットの短文投稿サイト・ツイッターで、戦争法案に反対する「SEALDs」(シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動)について「自分中心、極端な利己的考え」と非難した問題に、批判が広がっています。

「相手にするだけの価値もない。『戦争したくない』と思うのは当たり前で感情で、何がいけないのでしょうか」とあきれるのは、シールズ関西の塩田潤さん(24)＝神戸大学大学院2年＝。「戦争法案は、NGO(非政府組織)など草の根の活動で、国際貢献してきた人たちを真っ先に危険にさらします」と批判し、

「僕たちは個人が個人の思いで声をあげ、行動することが民主主義の根幹だと考えています。それを否定するのは民主主義を否定するもの」と憤ります。

滋賀で新婦人・
県商連が抗議

新日本婦人の会滋賀県本部は同日、憲法違反の戦争法案に反対する若者を非難する議員こそ、国会議員の資格が問われると、武藤議員に抗議文を送付しました。

滋賀県商工団体連合会も同日、「憲法を破壊し、戦前思想に戻したいという過去の人物」であり、「議員の資格はない」との抗議文を武藤議員に送付しました。

日本共産党滋賀県委員会

た。

「戦争したくない」は当然 シールズ関西の院生

あす 赤旗